

教育相談票・派遣依頼票 (泉北ブロック支援教育地域支援整備事業)

相談者	学校園名	〇〇市立□□□小学校		校園長名	泉北 一郎
	住 所	〇〇市		メール	Maruamru @
	電 話	0 7 2 -		ファックス	0 7 2 -
	担当者名	泉 花子		相談の形式	☒ 来校相談(依頼校⇒支援学校) ☐ 訪問相談(支援学校⇒依頼校)
	担当者所属	☒ 通常学級担任 ☐ 支援学級担任 ☐ 通級指導教室担当 ☐ その他			
相談対象	学 年	6 年		性 別	☒ 男 ・ 女
	障がい状況	☒ 知的 ☒ 発達障がい ☐ 肢体 ☐ 情緒 ☐ 病弱 ☐ 視覚 ☐ 聴覚 ☐ その他()			
	診断の有無	☒ 有 ☐ 無 (診断名: 広汎性発達障害 知的障がい)			
	手 帳	☒ 療育手帳 ☐ 身体障がい者手帳 ☐ 精神障がい者保健福祉手帳			
	実 態	父、母、兄(中1)、本人の4人家族。状況を考えない発言・行動があるため友だちがほとんどいない。集中が続かず、授業に関係のないことをしていることがある。学習の定着ができていない。多動、衝動的な行動があり、トラブルも多い。口頭での指示をすぐに忘れるので、家庭では「何回言わすの?」と叱られることが多い。			
校内で検討されたこと	現状の把握・共有を管理職・支援コーディネーター・学年団で行った。介助員など加配要員が確保できない現状があるため、支援学級担当者やコーディネーターと連携を図りながら、担任が中心に支援を行う。環境調整を軸に対人トラブルなどの解決にも丁寧に対応する。また、情報共有の機会を定期的に行い、随時対応を検討していく。				
指導と支援これまでの	教室での座席を教師の近くに、個別の対応をしやすくした。また、集中できる環境を整えるために黒板周りや掲示物の整理をした。否定的な発言が多くなってきていることも気になるため、意識的にほめる機会をつくり、自己肯定感を高める支援に取り組んでいる。				
相談内容	・周囲の空気が読めないような発言や行動があるため、友だちがほとんどいない。友だちをつくってあげたいが、どのようにしたらよいか。 ・学習内容が定着しないので、どのようにしたらよいか。				
相談票提出日		令和〇年 〇月 〇日		* 相談票受付日	
* 相談等実施日		年 月 日		* 相談担当者(所属)	
* 相談の概要	記入者()				

太枠の部分についてご記入ください。ワードデータは教育委員会にお問い合わせください。

* は相談担当者が記入し、相談後に教育委員会に報告いたします。